

日 本 史

(問 題)

2019年度

〈H31133319〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) 所定の欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

12世紀前半に成立したと考えられる歌集に、「すみれ咲く奈良の都^aの跡とてはいしずゑのみぞかたみなりける」という歌が収められている。ここには、平安時代の人々にとっての、旧都に対する意識が顕在化している。

歌の中の表現をみていくと、「すみれ」について勅撰和歌集^bの1つである『後撰和歌集』の中には、「荒れたる所に住み侍りける女、つれづれにおもほえ侍りければ、庭にあるすみれの花を摘みていひつかはしける」との詞書がある。また、「いしずゑ」とは礎石^cのことであり、「宮内省の南門が倒れて、礎石だけがあらわになっている」と記された貴族の日記^dや、「戒壇^eが壊れた後にただ礎石があるのみ」などと記された寺院関係の史料もある。つまり、「すみれ」や「いしずゑ」といった表現が用いられているこの歌には、平安時代以降の奈良の荒れ果てたイメージが投影されているといえよう。

こうした遷都後の奈良について、『古今和歌集』は「ふるさととなりにし奈良のみやこにも色はかはらず花は咲きけり」という歌を採録し、平城太上天皇の作とされている。また、遷都^fの後に旧都を懐かしむ歌は他の時代にもみえ、柿本人麻呂^hは「近江の海夕波千鳥汝が鳴けば心もしのに古思ほゆ^g」という歌を残している。

問1 下線部aの時代の出来事Ⅰ～Ⅳを古い順から並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 藤原仲麻呂の乱
- Ⅱ 長屋王の変
- Ⅲ 盧舎那仏の開眼供養
- Ⅳ 宇佐八幡神託事件

- ア Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ→Ⅳ イ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ→Ⅳ ウ Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ→Ⅰ
エ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ→Ⅳ オ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ→Ⅳ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅳ→Ⅰ

問2 下線部bの編者としてあてはまる人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 紀友則 イ 在原業平 ウ 橘逸勢 エ 小野岑守 オ 惟宗直本

問3 下線部cに関連して、古代の建築について述べた文として誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 礎石を用いず、地面に穴を掘って柱を立てた建物を掘立柱建物という。
イ 国府や郡家などの地方官衙の建物は、礎石建ちではなかった。
ウ 奈良時代においても、農民の住居には堅穴住居がみられた。
エ 平城宮の大極殿では、天皇の即位や大嘗祭、元日朝賀などの重要な儀式が行われた。
オ 藤原頼通によって創建された平等院の阿弥陀堂を、鳳凰堂と称する。

問4 下線部dにあてはまるものはどれか、1つ選べ。

- ア 『風信帖』 イ 『梁塵秘抄』 ウ 『中右記』 エ 『北山抄』 オ 『菅家文草』

問5 下線部eに関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 戒壇とは、僧侶に戒律を授ける場所である。
イ 鑑真によって日本で初めて戒壇がもうけられた。
ウ 筑紫の観世音寺には戒壇がおかれた。
エ 戒壇がおかれた下野薬師寺には道鏡が流された。
オ 空海によって大乘戒壇が設立された。

問6 下線部 f の人物が引き起こした政変についての記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 平城太上天皇は弟の嵯峨天皇と対立した。
- イ 平城太上天皇は平城京への遷都を主張した。
- ウ 平城太上天皇の側についた藤原仲成は殺された。
- エ 政変に際して藤原冬嗣は、養老令に定められた蔵人頭に任じられた。
- オ 政変の後、藤原氏の中で北家が優勢になった。

問7 下線部 g に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 乙巳の変の後、孝徳天皇のもとで難波に遷都した。
- イ 壬申の乱の後、天武天皇のもとで藤原京に遷都した。
- ウ 大宝律令制定の後、元正天皇のもとで平城京に遷都した。
- エ 恭仁京への遷都は、吉備真備と孝謙天皇の主導で行われた。
- オ 長岡京の造営は、造長岡宮使であった早良親王が暗殺されたことで中止になった。

問8 下線部 h に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 『万葉集』には、柿本人麻呂の歌が残されている。
- イ 柿本人麻呂は聖武天皇の時代に活躍した歌人である。
- ウ 「近江の海」とは、琵琶湖のことである。
- エ 歌の中で懐かしまれている旧都へ遷都したのは、中大兄皇子である。
- オ 大海人皇子は、歌の中で懐かしまれている旧都から飛鳥浄御原宮へ遷都した。

II 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

13世紀末から14世紀前半にかけて、鎌倉幕府は支配基盤が弱体化し、ついに滅亡する。その後の建武政権の成立から14世紀末までを南北朝時代という。南北朝が並び立つ状況は、京都に武家政権を開いた足利尊氏が光明天皇を立て、これと対立した後醍醐天皇が京都を逃れて吉野に入り、自らを正統な天皇と主張したことにはじまる。この南北朝の動乱では、初期に新田義貞や北畠顕家など有力な武将が戦死した南朝は、軍事的に劣勢に立たされた。

それでもなお、半世紀以上にわたり南朝が存続したのはなぜなのだろうか。その理由の1つは、後醍醐天皇が地方に派遣した皇子や側近による拠点づくりが、東北・関東・九州など各地で一定の成功を収め、北朝（幕府）に対して抗戦し続けたことにあったといえよう。しかし、それよりも主要な理由は、北朝を擁する幕府内部で、足利尊氏と弟直義のそれぞれを支持する勢力間の対立が武力衝突に発展し、それ以降も抗争が繰り返されたことである。その過程で、対立する勢力の一方が南朝に帰順するようなこともたびたび起こり、動乱は混迷を深めた。また各地の武士も国人一揆を結ぶなどして、その時々有利な勢力について活動するなどしたため、動乱は全国化し、長期化したのである。

この動乱の中で、軍事統率者としての守護の役割が大きな意味をもつようになる。半済令などによって拡大した権限を利用して、守護は国内の武士を組織するようになり、山名氏など国をこえて多くの武士を編成する守護勢力もあらわれる。彼らが幕府方につくことによって、南北朝の動乱は終息を迎えることになった。足利義満のとき後亀山天皇や南朝の公家たちが帰京するというかたちで、南北朝は合一されたのである。

問1 下線部aに関連して、次のⅠ～Ⅳを時期の古い順から並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 正中の変で、後醍醐天皇の討幕計画が幕府側にもれて失敗した。
- Ⅱ 幕府は窮乏する御家人を救うため永仁の徳政令を出したが、効果は一時的だった。
- Ⅲ 楠木正成が千早城に拠って、幕府の派遣した大軍と粘り強く戦った。
- Ⅳ 討幕の挙兵を企てて笠置山に籠った後醍醐天皇が捕らえられ、隠岐に流された。

- | | | | | | |
|---|---------|---|---------|---|---------|
| ア | Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ | イ | Ⅰ→Ⅱ→Ⅳ→Ⅲ | ウ | Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ→Ⅳ |
| エ | Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ→Ⅳ | オ | Ⅱ→Ⅰ→Ⅳ→Ⅲ | カ | Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ→Ⅳ |

問2 下線部bは、建武政権で後醍醐天皇の皇子を補佐して地方に政務機関を設置した。その皇子と政務機関の呼称の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | | | | | |
|---|------------|---|------------|---|------------|
| ア | 護良親王・鎌倉将軍府 | イ | 成良親王・鎌倉将軍府 | ウ | 義良親王・雑訴決断所 |
| エ | 護良親王・陸奥将軍府 | オ | 成良親王・雑訴決断所 | カ | 義良親王・陸奥将軍府 |

問3 下線部cに関連して、南北朝時代の九州について述べた文として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 征西将軍として下向した懷良親王をいただく南朝方と菊池氏が対立した。
- イ 大宰府を占領していた懷良親王が、元によって日本国王に冊封された。
- ウ 対馬・壱岐・肥前松浦地方の倭寇の活動は、一時的に収まった。
- エ 管領の細川頼之によって、今川貞世（了俊）が九州探題に任命された。
- オ 新たに設置された鎮西探題が、九州の政務や裁判を分掌した。

問4 下線部dに関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 足利直義が、恩賞の認定など全国の武士との主従制的な支配権を分担していた。
- イ 足利直義は、伝統的な御家人勢力を代表し、幕府による秩序維持を重視する立場をとった。
- ウ 足利直義は、自身の養子で兄尊氏の庶子である直冬を中国探題に任命した。
- エ 高師直や佐々木導誉は、新興武士勢力を代表し、武力による所領拡大を主張した。
- オ 高師直と足利直義が相次いで敗死したのちも、尊氏・義詮派と直冬派の抗争は続いた。

問5 下線部 e に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 国人とは地方在住の武士で、守護の家臣となったものをいう。
- イ 国人一揆は戦争時の相互支援のために結ばれたもので、国人相互の紛争解決まではできなかった。
- ウ 国人一揆契状の署名には、参加者の対等性を示すため傘連判が用いられる場合もあった。
- エ 国人一揆は、とくに守護の力が強い地域で、その支配に抵抗するために結成されることが多かった。
- オ 戦国大名毛利氏は周防の国人一揆の盟主の地位から出発し、しだいに他の領主を家臣団に組み込んだ。

問6 下線部 f に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 半済令は、荘園・公領の年貢の半分を徴発する権利を、兵糧料所として守護に預けたことにはじまる。
- イ はじめて発布された半済令は、伊勢・美濃・尾張の3カ国、3年限りの時限立法であった。
- ウ 応安の半済令では、各国の守護の要求に応じて、無期限の全国令となった。
- エ 応安の半済令では、天皇家領や寺社一円地は保護され、半済令の適用除外となった。
- オ 当初は年貢を半済していたが、次第に土地を分割するようになった。

問7 下線部 g が、南北朝時代末に六分の一衆と呼ばれた時期に、一族で守護を兼ねた国に該当しないのはどれか、2つ選べ。

- ア 但馬 イ 伯耆 ウ 阿波 エ 備後 オ 越前 カ 因幡

問8 下線部 h に関連して、次の史料A・Bの空欄1・2に該当する語の組み合わせとして正しいものはどれか、1つ選べ。

史料A 明德三年閏十月五日、今日三種の神器、1 殿より内裏に渡御す。宝剣は、元暦（注1）海底に沈ましめたまう。今の三種は神鏡・神璽・^{ひのおまし}昼御座（注2）の御剣なり。今月二日、南朝の主御入洛す。1 に着御の時、同じく渡御あり。

（注1）元暦：壇ノ浦合戦の時の年号。 （注2）昼御座：清涼殿の中で天皇が日中いる場所。

史料B 御合体の事、（中略）^{じゅうがん}入眼（注3）の条珍重に候。三種神器帰座あるべきの上は御譲国の儀式をなすべきの旨、その意を得候。自今以後、両朝の御流相代わりて御譲位^{じじょう}治定せしめ候いおわんぬ。なかんずく諸国の国衙はことごとくみな御計^{はからい}たるべく候。長講堂領に於いては、諸国分一円2 殿の御進止たるべく候。

（注3）入眼：物事が完成すること。なしとげること。

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| ア 1 室町・2 大覚寺 | イ 1 室町・2 持明院 | ウ 1 持明院・2 室町 |
| エ 1 持明院・2 大覚寺 | オ 1 大覚寺・2 室町 | カ 1 大覚寺・2 持明院 |

Ⅲ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

江戸時代のなかごろ、18世紀半ばから後半にかけて、商品経済の発展により、富を蓄えた都市の町人や裕福な農民が増加し、この時期には様々な分野で新しい文化が花開いた。その反面、年貢収入に依存する幕府や藩は、深刻な矛盾や財政危機に直面するようになった。幕府や諸藩は、特産品の生産を奨励するとともに、専売制を強化し、財政難の克服と荒廃した農村の再興を図り、綱紀の引き締め、儉約、教育の充実などに力を注いだ。18世紀末の 1 期を中心に広く行われたこれらの諸改革では、藩主自らが指揮をとることも多く、改革に成果を上げた大名は名君とされるようになった。

この改革・儉約の精神は19世紀初頭まで継承されたといわれるが、矛盾の根本的な解決には至らず、その後の幕府は、増大する支出を、豪商への御用金賦課や貨幣改鑄の差益から支出することで切り抜けようとするなど、場当たり的な対応が多かった。農民層の分解はさらに進展し、とくに北関東の農村では農民の耕作放棄や離村による荒廃地が拡大した。このような状況のなか、19世紀前半に天保の飢饉が起こり、その直接・間接のさまざまな影響は幕府に深刻な衝撃を与えた。同時にこの頃は「内憂外患」と呼ばれるように、幕府は国内外の問題に追われるようになった。日本人漂流民の送還と通商を求め来航した 2 船を砲撃した事件をめぐっては、海防強化の提言が提出された。こうした状況のなかで幕府は、言論・出版への統制を行った。

問1 下線部 a の文化で活躍した人物として不適切なのは誰か、2人選べ。

ア 柄井川柳 イ 為永春水 ウ 近松半二 エ 円山応挙 オ 鈴木春信 カ 井原西鶴

問2 下線部 b に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 幕府は収入の増大を図って真鍮座を設置したが、寛政の改革で廃止した。
イ 幕府や諸藩は、殖産興業や専売を目的として、産物役所を設置した。
ウ 百姓らの一揆のなかには、専売制の撤廃を要求するものもあった。
エ 専売により営業を独占した商人は勘定所御用達とよばれ、財政難打開に貢献した。
オ 天保の改革では、物価高騰の原因として藩専売制を禁止したが、徹底しなかった。

問3 空欄 1 にあてはまる年号はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 宝暦 イ 享保 ウ 寛政 エ 明和 オ 文久

問4 下線部 c に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 米沢藩主上杉治憲は、米沢織などの殖産興業に努め、大儉約令を発して、財政再建をめざした。
イ 白河藩主松平定信は、藩政の実績を評価され、老中首座として幕政の改革にあたった。
ウ 熊本藩主細川重賢は、横井小楠の補佐により、治水・租税軽減などで農民の生活安定に努めた。
エ 松江藩主松平治郷は、徹底した勸農抑商策と年貢増徴により、藩財政の再建を図った。
オ 秋田藩主佐竹義和は、天明の飢饉後、農林業の奨励、手工業の育成による立て直しを図った。

問5 下線部 d に関連して、江戸時代の以下の貨幣・紙幣Ⅰ～Ⅲを、最初の発行時期により古い順から並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- Ⅰ 寛永通宝
Ⅱ 南鐐二朱銀
Ⅲ 福井（越前）藩藩札

ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問6 下線部 e に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 飢饉は、天候不順と浅間山の大噴火による冷害が原因であった。
- イ 三河加茂や美濃郡上では、困窮から大規模な一揆が起こった。
- ウ 元大坂町奉行所与力で適塾を開いていた大塩平八郎は、救民を掲げ蜂起した。
- エ 『出潮引汐奸賊聞集記』は、大塩の乱のようすを描いている。
- オ 陽明学者の生田万は、「大塩門弟」と称し越後で乱を起こした。

問7 空欄 2 にあてはまる国名として、正しいものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア アメリカ イ イギリス ウ ロシア エ イタリア オ フランス

問8 下線部 f に関連して、19世紀に幕府に処罰された人物とその著書の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | | |
|----------------|-----------------|---------------|
| ア 高野長英・『慎機論』 | イ 山県大弼・『柳子新論』 | ウ 本多利明・『経世秘策』 |
| エ 渡辺華山・『戊戌夢物語』 | オ 柳亭種彦・『修紫田舎源氏』 | |

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

明治時代を通じて、ジャーナリズムは大きな発展をとげた。1870年に最初の日刊新聞である『1』が発刊されると、その後、次々と新聞が創刊された。この時期の新聞の多くは自由民権運動と結びついていたが、なかには『時事新報』のように不偏不党の立場を掲げた新聞もあった。一方、雑誌に関しても、『明六雑誌』や『民間雑誌』を先駆けとして、^a多くの雑誌が創刊された。自由民権運動の高揚に対して、政府は1875年に^b2と^c3を制定し、自由な言論活動に対する取り締まりを強化した。その後、明治後期以降には、^d労働問題や女性解放を取り上げた新聞や雑誌が現れた。

大正時代には、第一次世界大戦や関東大震災などの大事件による影響もあり、新聞の発行部数は急速に伸びた。大正末期になると、^e四大紙の発行部数が一日100万部ほどに達した。また、この時期には月刊誌が発展をみせたほか、新しいメディアとしてラジオ放送が登場した。しかし昭和時代に入り、^f戦時体制が強化されていくと、言論の自由は大幅に制限された。

第二次世界大戦終結後には、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）によって^g「人権指令」と「プレス＝コード」が日本側に示された。また、^h戦時中に休刊を余儀なくされていた雑誌が復刊した。1950年代には、民間のラジオ放送やテレビ放送の開始に加えて週刊誌も普及し、メディアの大衆化と多様化が進んだ。

問1 空欄1に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 自由新聞 イ 朝野新聞 ウ 国民新聞
エ 日新真事誌 オ 郵便報知新聞

問2 下線部aを創刊した人物を1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 馬場辰猪 イ 福沢諭吉 ウ 本木昌造 エ 前島密 オ 矢野龍溪

問3 下線部bを刊行した思想団体の創立を発議した人物に関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 国際法を翻訳し、刊行した。
イ 岩倉使節団で副使をつとめた。
ウ 『人権新説』を著した。
エ 新律綱領などの法典の編纂に尽力した。
オ 国粋主義者に刺殺された。

問4 下線部cに関連して、明治・大正時代に刊行された雑誌を創刊時期の古い順から並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- I 『国民之友』
II 『太陽』
III 『文藝春秋』
ア I→II→III イ I→III→II ウ II→I→III
エ II→III→I オ III→I→II カ III→II→I

問5 空欄2・空欄3に該当する語句はどれか、2つ選べ。

- ア 出版統制令 イ 出版取締法 ウ 出版法
エ 讒謗律 オ 集会条例 カ 新聞紙条例

問6 下線部 d に関連して、明治・大正時代に刊行された新聞・雑誌とその発行団体に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 『万朝報』の記者であった幸徳秋水と堺利彦は、後に平民社を設立した。
- イ 平民社が刊行した『平民新聞』は、社会民主党の機関紙となった。
- ウ 『青鞥』は、女性文芸思想誌として刊行された。
- エ 『青鞥』の刊行に携わった平塚らいてうは、後に新婦人協会を設立した。
- オ 新婦人協会は、『女性同盟』を刊行した。

問7 下線部 e に該当する新聞の1つとして、『東京日日新聞』が挙げられる。明治時代に同紙を発行していた会社の社長をつとめ、立憲帝政党を組織した人物を1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 黒岩涙香 イ 末広鉄腸 ウ 田口卯吉 エ 東海散士 オ 福地源一郎

問8 下線部 f の時期に刊行された出版物に関する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 『臣民の道』は、文部省によって刊行された。
- イ 『生活の探求』は、転向による苦悩を描いた作家、島木健作の作品である。
- ウ 『日本浪漫派』は、保田与重郎らによって刊行された。
- エ 『ファシズム批判』は、矢内原忠雄によって執筆され、発禁処分となった。
- オ 『村の家』は、転向後の中野重治による作品である。

問9 下線部 g に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 治安維持法の廃止や政治犯・思想犯の釈放が指令された。
- イ 幣原内閣は、人権指令の実行をためらい、総辞職した。
- ウ 占領軍に対する批判的報道は禁止された。
- エ 新聞は、事前検閲を受けることになった。
- オ ラジオ放送に関しても、プレス＝コードと同種の規則が定められた。

問10 下線部 h に該当する雑誌はどれか、2つ選べ。

- ア 『改造』 イ 『思想の科学』 ウ 『世界』
- エ 『中央公論』 オ 『展望』 カ 『日本人』

V 次の文章および史料A～Dを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

日本列島の古代から現代にいたる、自然環境と人間の関係について考えてみたい。

古代以降、遺された文字資料をみると、火山の噴火、地震、台風、長雨、干ばつ、冷害、虫害、病害などの、おもに自然環境に起因する食糧不足や流行病に悩まされてきた時期が少なくないことがわかる。たとえば『1』には、奈良時代における地震や飢饉が繰り返し記述され、藤原不比等の四子の天然痘による相次ぐ死のようすも登場する。飢饉の被害が広範囲におよぶこともたびたびで、765（天平神護元）年には石見・美作・紀伊・讃岐・淡路・壱岐・多岐などの国々で、また791（延暦10）年の大宰府からの言上では管轄下の豊後・日向・大隅などの国々で飢饉が起こったとあり、その死者も数万人に達することがあったようだ。

さらに時代が下ると、よく知られる飢饉について、以下の史料Aはそのようすを伝えている。

史料A さるほどに去年、諸國七道の合戦、諸寺諸山の破滅もさることにて、天神地祇（注1）恨みを含み給ひけるにや。春夏は炎旱（注2）夥しく、秋冬は大風洪水ななめならず（注3）（中略）三月に雨風が起き、麦苗秀ず、多くは黄死。九月に霜降りて秋も早寒す。禾穂（注4）は未熟にして、みな青乾（注5）と云ふ（中略）かようによからぬことのみ在りしかば、天下大いに飢饉して、人民多く餓死に及べり、僅かに生者も、或は地をすて境を出で、此彼に行き、或は妻子を忘れて山野に住み（中略）路頭に死人のおほきこと、算を乱せるが如し。されば馬・車も死人の上を通る。臭き香り京中に充満て、道行く人も輒らず（注6）。

『源平盛衰記』

（注1）天つ神と国つ神。あらゆる神々のこと。

（注2）猛烈な日照りによる干害のこと。

（注3）「ななめならず」は「ひとかたならず」の意。

（注4）イネ科の穀類の穂のこと。

（注5）青いままひからびてしまうこと。

（注6）「輒らず」は「わけなく軽々とはいかない」の意。

このような飢饉は、中世から近世にかけてたびたび起こり、次の史料Bに描かれる寛正の大飢饉における都市の状況はもとより、農村も悲惨な事態にみまわれ、各地で土一揆が発生し、徳政や年貢減免を求める動きが起こった。

史料B 願阿（注7）その徒に命じて、病民の起つこと能わざるは、竹輿をしてこれに乘らしむ（中略）先ず粟粥を煮てこれを食さしむ。蓋し飢えたる者、飯を喫はばすなわち倒て死せん。故に粥を勧むるなり（中略）、四条坊の橋の上よりその上流を見れば、流るる屍は無数にして、塊石の磊落するが如し。流水は壅塞（注8）し、その腐臭は当つべからざるなり。（中略）あるもの曰く、「正月よりこの月に至り、城中（注9）の死者は八万二千人なり」。余曰く、「何をもってこれを知るか」。曰く、「城北に一僧あり。小片木をもって八万四千率堵（注10）を造り、一つ一つこれを戸骸の上に置く。今二千余ると云う（後略）

『碧山日録』

（注7）僧願阿弥のこと。足利義政は百貫文を与えて飢民への施食を命じた。

（注8）ふさぐこと。

（注9）洛中のこと。

（注10）故人を供養するために作られた木札、卒塔婆のこと。

近年の研究では、寛正の大飢饉は、1452年に数回起きた南太平洋の海底火山の大爆発に起因して、1455年まで北半球では全体に「夏のない年（冷夏）」となった世界的な気候変動と結びついていることが理解されている。

これらのおもに自然環境に起因する諸問題に対して、近代以降顕著になったのが、人為的に引き起こされた公害や環境問題であった。明治時代には、日本有数の大銅山において、農業や漁業に深刻な被害をもたらした鉱害事件が発生し、長期にわたって大きな社会問題となった。史料Cは、この鉱害の原因の調査報告から抜粋したものである。

史料C 2 沿岸耕地被害ノ実況ヲ視察スルニ、其原因ハ実ニ土壤ノ理学的組織ト化学的組成ニアルヲ知ル。夫ノ被害地ノ土壤ヲ見ルニ、大概ニ緊縮固結ノ状ヲ呈ス。斯ノ如キハ（中略）耕耘ニ困難ヲ来スノミナラズ、尚ホ又、之ニ従伴スル諸種有害ノ作用、爰ニ存在スルヲ信ズ。例令ヘ湿润ノ候ニアッテハ空気ノ竄通ヲ妨ゲ、土壤中諸種有害ナル還元作用ヲ誘起シ、旱魃ノ際ニハ緊結亀裂スルガ如キ、皆植生ニ有害ナルモノナリ。

また、明治時代以降の日本では、工業化や都市化の進展とともに、公害・環境問題が多様化し、発生件数も増えていった。特に第2次世界大戦を経て高度成長期に入ると、「公害王国」と評されるほどに公害・環境問題が頻発した。公害・環境問題への対策の遅れを批判する世論の高まりを受けて、日本政府は様々な対策を講じた。こうしたなか、田中角栄が首相就任直前に発表した著書は、大きな反響を呼んだ一方で、同書で提示された政策に対して、公害・環境問題を懸念する声もあがった。たとえば日本弁護士連合会は、田中内閣が推進しようとした政策に対して、史料Dのような

決議を行った。この頃から、公害・環境問題は世界的に大きく取り上げられるようになり、国際的な議論が活発になっていった。

史料D 政府が現時推進しようとしている 3 計画は、国民福祉の向上と公害なき開発の理念に徹し、広く国民的討議を重ねて策定されるべきであり、これが十二分の検討と国民的同意なくして実行に移される場合には、公害を日本全土に拡散し、重大なる環境破壊をもたらすは必至である。

よって、国・地方公共団体は、深刻な基地公害を抱える沖縄県の開発についてはもとより、およそ国土の開発にあたっては、計画の策定および実施について、あらかじめ地域住民の完全な理解と同意を得るとともに、地域住民に対し住民参加を基礎とする公害の完全防止を制度的に保障すべきである。

問1 空欄1に該当するものはどれか、1つ選べ。

ア 古事記 イ 日本書紀 ウ 日本後紀 エ 風土記 オ 続日本紀

問2 下線部aに関する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 後鳥羽上皇は、畿内・西国の武士や大寺院の僧兵を味方につけ挙兵した。
イ 源義仲が倶利伽羅峠の戦いで大勝して入京し、平氏が都落ちした。
ウ 将軍家や管領家の内紛への守護の介入を機に、京都から全国へと戦乱が広がった。
エ 反平氏の動きを見せた南都の僧兵が攻撃され、興福寺・東大寺の伽藍が焼けた。
オ 保元・平治の乱の結果、武家の棟梁としての平清盛の地位と権力が高まった。

問3 下線部bのように阿弥号を名乗り、剃髪して僧となることで俗世での身分差を超えて、将軍に芸能・技能をもって近侍した同朋衆の多くが属した宗派はどれか、1つ選べ。

ア 時宗 イ 臨済宗 ウ 浄土真宗 エ 日蓮宗 オ 律宗

問4 史料A・Bの掲載部分に共通して記された内容として、もっとも適切なものはどれか、1つ選べ。

ア 当時の為政者の指示で、飢餓民への粥などの施しが行われていた。
イ 出身の農村を捨て、家族も捨てて、さまよう飢餓民が多かった。
ウ 食糧難の結果、数多くの飢餓民が京都で亡くなっていた。
エ 夏に霜がおり秋の寒さが早く来るなか、穀類が実らず立ち枯れた。
オ 埋葬が間に合わず、小さな卒塔婆を置き歩いて弔う僧がいた。

問5 空欄2に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 阿賀野川 イ 北上川 ウ 神通川 エ 只見川 オ 渡良瀬川

問6 下線部cの時期の出来事に関する記述として正しいものはどれか、1つ選べ。

ア 交通事故が急増し、ピークの年には交通事故による死者が2万5000人を超えた。
イ 高度成長による過疎化に悩んだ農山村では、いわゆる「革新自治体」が次々に成立した。
ウ 熊本県水俣湾周辺で発生した水俣病は、おもに工場廃液中のカドミウムが原因であった。
エ 水俣病は、熊本県以外に富山県でも発生した。
オ 公害対策基本法が制定された後に、環境庁が発足した。

問7 下線部dの人物に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 池田勇人内閣と佐藤栄作内閣で蔵相をつとめた。
イ 田中内閣において、日本の経済成長率は戦後初のマイナス成長となった。
ウ 田中内閣において、日中平和友好条約が締結された。
エ 田中内閣は、首相の金脈問題が非難を浴び、総辞職した。
オ 航空業界の汚職事件に関わったとして、逮捕された。

問8 空欄3に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 国民所得倍増 イ 全国総合開発 ウ 新全国総合開発
エ 新長期経済 オ 日本列島改造

[以下 余白]

